

# そり遊び・雪遊び・雪灯ろうづくり・雪像づくり スノーシュー、かんじきハイキング 打合せ表

※事前に太枠内をご記入ください。

記入日 月 日 ( )

団体名	団体担当者		携帯電話 ( )
実施日時	月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分		
参加者	男 ( ) 名	女 ( ) 名	計 ( ) 名
活動内容 (該当に○をしてください) ・そり遊び ・雪遊び ・雪灯ろうづくり ・雪像づくり ・スノーシュー、かんじきハイキング			

## 打合せ時記入欄

以下は職員が記入します。

交流の家担当者 (1) 打合せ者 ( ) (2) 事前指導者 ( )

活動内容 (詳細)

活動場所 (図に○) 集合場所 ( ) 集合時刻 ( )



## ●貸出用具

用具名	数	現有	用具名	数
プラスチックそり		57	コンパネ (雪像づくり用)	枚
雪玉製造機 (鉄製)		1	ベルト (雪像づくり用)	本
雪玉つくり機 (プラ製)		15	スノーシュー	足
バケツ		30	和かんじき	足
スコップ		10	ストック	組
ミニショベル		70	小燭台	個
携帯用救急バッグ		10	その他 (スパッツなど)	



無線機 ( 台)

101 102 103 104  
105 106 107 108  
109 110 111 112  
113 114 115 116

※スノーレーサーは、本所の事業以外では貸出をいたしません。

※雪像づくりの説明書・かんじきのはき方の説明書があります。

## ●研修の流れ

- (1) 用具の説明（交流の家職員）
- (2) 用具の受け取り（講堂下へ移動し、職員指導の下で行ってください。）
- (3) 研修場所へ移動（職員が先導します。）
- (4) 準備運動
- (5) 遊び方・基本的な決まりや注意事項の説明（交流の家職員）
- (6) 実技（安全に楽しく遊びましょう。）
- (7) 研修終了・用具の返却

借りた用具の雪をよく落として、出した場所に返しましょう。

※スパッツを使った場合

- ・汚れを落とす。
- ・両方ともチャックをし、片方のスパッツの中にもう片方のスパッツを入れる。
- ・ゴムのある方を手前にして棚に入れる。



## ●注意事項

- (1) 必ず、実施前に健康状態を把握しておいてください。
- (2) 研修にふさわしい服装及び携行品で参加しましょう。

長袖・長ズボン（防寒着）・帽子・手袋・タオル

【持ち物や服装は、研修の目的や天候季節に応じて調節しましょう！】

- (3) 救急・安全指導について

- ・実施前、研修中の安全指導を徹底してください。
  - 事故発生の場合**
    - ①現場での応急手当をする。
    - ②援助が必要な場合、交流の家に連絡する。（無線機又は携帯電話で）0854-36-0319
- ※ただし、救急を要する場合は、直接119番通報してください。

- (4) 実習終了後について。

- 衣服や靴の雪を良く落として、**野外活動出入口**から所内に入ってください。
- 無線機・ゼッケン・救急バックは研修終了後、事務室にまとめて返却してください。
- 研修終了後、**事後報告**をお願いします。〈コースの状態、ケガ・体調など〉

弁当を注文された場合

- ・弁当の受け取り・水筒の湯茶については、打合せ後、必ず食堂職員に確認をしておいてください。
- 弁当殻は必ず持ち帰り**、処理については食堂職員の指示に従ってください。